9月定例会では1件の 意見書を可決し、関係機関へ 送付しました。(要旨)

地方消費者行政の充実

庁に文書で提出するものです。 てまとめ、国会または関係行政

(地方自治法第99条)

8

1件を含めて3件を採択し、1件を継続審査としました。 9月定例会では請願3件を新たに受理、継続審査となっていた 採択された請願の請願事項は次のとおりです。なお、市立小・

中学校及び市立保育園の給食の放射能対策を求める2件の請願の 請願事項はまとめて掲載しました。 また、継続審査となった請願は下記のとおりです。

放射線測定器購入等について 園庭及び校庭における放射線測定と (請願)

射線量の測定を行い、データを 公開してください。 小・中学校の校庭で定期的に放 市立の全保育園の園庭と、 放射線測定器を市役所に複 保有してください。 代表 請願者 小平市上水新町三丁目 校庭の放射線測定を求める会 償で貸し出してください。 対策地区委員会などの団体に無 学校、PTA、自治会、青少年 稚園、認証保育所、私立小・中 尾川直子 外2千3百44

定器を希望する私立保育園、幼 市立小・中学校及び市立保育園の給食 市役所で保有する放射線測

の放射能対策を求めることについて

(請願)

閉会中の継続審 査となった請願

建設委員会

請願第4号 小平都市計画道路3・3・8号府中所沢線に 関する市民による対話の場の設置について

被害をもたらす悪質な事件が頻 の地方消費者行政活性化交付金 精いっぱいというのが実態です。 者行政を強化する立場の自治体 治体の消費生活相談窓口の充実 とってこれらを解決しみずから の暮らしや健康などへの深刻な において、現状を確保するのが が欠かせません。しかし、消費 を守るためには、身近な地方自 もふえ続けています。消費者に によるトラブルや経済的被害等 発しています。特に消費者契約 この間、小平市においては国 消費生活相談窓口は これによって、年間1千件を超 ち3日は2人) から完全週2人 欠かすことはできません。多摩 今日、市民にとってこの業務は 者の相談が多数を占めており、 える相談を受けることができて 体制へと充実させてきました。 相談員が以前の週1人体制 ンターの相談部門が平成14年に 地域においては多摩消費生活セ います。この中では若者や高齢

専門性が必要とされますが、 口は一層重要となっています。 廃止されたために、市の相談窓 また、消費生活相談業務には

非常勤職員であり、市民が安心 談員は地位、待遇も期限つきの には安定した待遇等の改善も必 して相談できる窓口にするため しかし、これらを支えている

期限とされており、その後の地 危惧されます。 方自治体での人的体制の継続が 交付金はいずれも今年度までの 交付金、住民生活に光をそそぐ

当大臣 る支援を行うことを求めます。 さらに充実するよう実効性のあ せ、地方自治体の消費者行政が 金等を平成24年度以降も継続さ し、地方消費者行政活性化交付 内閣総理大臣、内閣府特命担 よって、本市議会は政府に対 (消費者及び食品安全)

継続的実効的支援を 向けて国による

め る

意見

て議会としての意思を意見とし 公共の利益に関することについ

化が進む中、消費者である市民

の困難さが増大し、さらに高齢

社会全体の複雑化や市民生活

意見書とは、地方公共団体の

議会改革調査特別委員会

2 主食の米は特に慎重に調達

限り内部被曝の低減に努めてく

てください。 検査を実施し、 道府県が行う食品の放射能検査

食材を選定して定期的に放射能 高く放射能検査の回数が少ない

安全確認を行っ

給食食材の調達は全国の都

結果等の情報を確認し、可能な

を図ってください。

給食食材から、使用頻度が

9 百 99 人

る会 代表

本橋美幸

外1千

小平市の子どもを放射能から守

請願者 小平市天神町一丁目

市議会では議会改革調査特別委員会を設置し、議会のあり方 や議会運営の具体的な方法について調査を進めています。

昨年度に続き、議会の模様や委員会で議論されている内容に ついて報告するとともに、市民のみなさんの声をお聞きし、 見交換をする場をつくりました。

たくさんの方からご意見やご提案をいただき、議会を活性化

させていきたいと考えています。 どなたでも参加できます。

11月5日(土) 午後2時~4時



健康センター 4 階視聴覚室

昨年の意見交換会の様子 第1部 9月定例会などの報告 第2部 市民のみなさんとの意見交換

無料 用

員 80人

する場合の結婚祝いや香典

の寸志・飲食物の差し入れ

※当日会場へ(先着順)



受け取った人も罰せられます とは法律で禁止されています。 を出したり、お金や物を贈るこ 状 (答礼のための自筆を除く) ○お中元・お歳暮 ○お祭りへの寄附・差し入れ)秘書や家族などが代理で出席 具体例は次のとおりです。 議員は、選挙区内の人に年賀



61 ○10 月 24 日

《小学3年 議場 生 小101人

代表質問を初めとして、 9月定例会では各会派から 市政全

ました。

を深めていただけるようにわか

今後も議会への関心と親しみ

りやすい紙

面づくりに努めてま

ります。

議会事務局にお寄せください。

187

- 801小平市小川町二丁目

333番地

お気づきの点がございました

般について活発な議論が行わ

あ が

25日 26日 議会運営委員会 31日

24日

月

9月定例会初日 5日

国からの地方消費者行政活性化

7月27日~10月24日 本会議、委員会、諸会議など

月 7

東京たま広域資源循環組合議会臨時会 昭和病院組合議会臨時会

> 8 月

三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会 4 日 東京河川改修促進連盟総会及び促進大会

議会改革調査特別委員会(埼玉県所沢市視察) 5日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会 9日

22日 総務委員会(神奈川県川崎市視察) 生活文教委員会 23日

東久留米市議会議員視察来庁(コミュニティ バス及びコミュニティタクシーについて) 建設委員会(市内視察)

幹事長会議 東京たま広域資源循環組合議会行政視察(日の出町)

厚生委員会(台東区視察)

9

6日 9月定例会2日目(代表質問)

9月定例会3日目 7日 (一般質問) 9月定例会4日目

9月定例会5日目(一般質問)

13日 総務委員会 14日 生活文教委員会

15日 厚生委員会

16日 建設委員会(市内視察あり) 防災対策調査特別委員会 20日

21日 議会改革調査特別委員会

幹事長会議 26日 議会運営委員会 27日 市議会議員研修会

30日 9月定例会最終日 議会報編集委員会

10 月

議会改革調査特別委員会 4日 一般会計決算特別委員会(13日まで) 湖南衛生組合議会臨時会

14日 特別会計決算特別委員会 議会報編集委員会 18日